

7面から続く

農林水産委員会

(有)森ファームサービス、借宿生子地区(岩井市、猿島町)

環境保全型農業の取り組みを調査

三和町の(有)森ファームサービスを訪れ、コンポストの積極的利用による循環型リサイクル農業や、無農薬、減農薬栽培により自然との共生をめざす農作物栽培などについて説明を受けました。

委員からは、循環型リサイクル農業を目指した理由について質問があり、農産物は輸入できるが自然環境や風土は輸入することができないので、農業を長く続けるためには、循環型リサイクル農業によって環境を守ることが必要であり、「皆様のふる里になりたい」と考えているためと答えました。

そのほか、組織の経営状態などの質問がありました。

次に、生産性の高い畑作農業の基盤整備を進める畑地帯総合整備事業を調査するため、借宿生子地区(岩井市、猿島町)を訪れ、区画整理、農業用排水施設、農道の整備などについて説明を受けました。

委員からは、連作障害対策について質問があり、境土地改良事務所から、端境期にソルゴーというイネ科の植物を

栽培し、それをそのまま堆肥化して地力の増進を図っていると説明がありました。

そのほか、農地の集積状況や認定農業者の状況などの質問がありました。



(有)森ファームサービスの事業概要について説明を受ける

土木委員会

常陸太田土木事務所、高萩土木事務所

国道293号常陸太田東バイパスや県道日立笠間線を調査

常陸太田土木事務所及び高萩土木事務所を訪れ、事務所管内の概要説明と管内各市町村の過去3か年の要望(第1順位)に対する県の対応状況等について報告を受けました。その後管内市町村から要望事項を聴取しました。

常陸太田土木事務所では、管内4市町村合併によるメリット及び、合併すると1市1土木事務所になるのかどうかの質問がありました。県は、広域的な建設計画により道路整備などの推進が図れるメリットがあり、また、1市1土木事務所になるかどうか具体的な検討をしていないが、大子土木事業所の例があると答えました。

高萩土木事務所では、県道日立笠間線と日立市の都市計画道路石名坂多賀線との重複する部分については県が整備しているが、県道までの市道整備に比べて遅れており、早期の整備が必要ではないかの質問がありました。県は、長い橋梁などの難工事箇所があり、現状では、市の整備が先行していると答えました。

また、常陸太田市金井町地内において、国道293号常陸太田東バイパスの整備状況について、さらに、日立市大久保町地内において、県道日立笠間線の整備状況について、それぞれ現地調査を行いました。



国道293号常陸太田東バイパス整備について説明を受ける(常陸太田市金井町地内)

文教治安委員会

岩瀬町立坂戸小学校、陶芸美術館、警察本部

学力向上を図る取り組みについて調査

岩瀬町立坂戸小学校を訪れ、学力向上フロンティア事業による、基礎・基本の定着と自ら考える力の向上を図る教育の取り組み状況について説明を受けました。

坂戸小学校では、算数の授業に、「先生と一緒に問題を解決するコース」、「ヒントカードを活用したり友だちと一緒に問題解決したりするコース」、「自力解決を重視したコース」の3つに分けたコース別学習を取り入れ、習熟度に応じた授業に取り組んでいます。

アンケート結果によると、子どもたちにも保護者にも、コース別学習は概ね好評との説明がありました。

次に、笠間市にある陶芸美術館を訪れ、展示活動や美術普及活動の内容、笠間工芸の丘や窯業指導所との連携について説明を受けました。

委員からは、入館料収入の状況などについて質問がありました。

また、警察本部を訪れ、交通管制センター、通信司令室及び科学捜査研究所について概要説明を受け、それぞれの施設を調査しました。

委員からは、交通渋滞を緩和するために車両感知器による情報をもとに信号の制御を行っているのかとの質問があり、県警は、車両感知器による情報

のほか、住民等からの情報などをもとに渋滞状況を調査し、信号切り換え時間の調整を行っているなどと答えました。



習熟度に応じた授業を調査(岩瀬町立坂戸小学校)